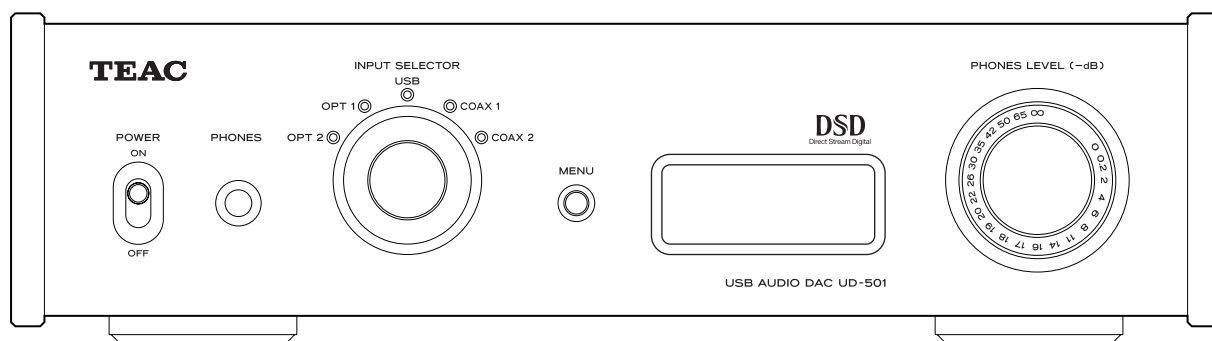
TEAC

UD-501

USB オーディオ D/A コンバーター

取扱説明書

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

D01181700B

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年１回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。

警告

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解禁止

この機器のカバーは絶対に外さない
カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。

この機器を改造しない
火災・感電の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く

移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります

旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く
通電状態の放置やお手入は、漏電や感電の原因となることがあります。

指示

オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
また、接続は指定のケーブルを使用する

電源を入れる前には、音量を最小にする
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする
異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。

この機器には、付属の電源コードを使用する
それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない
調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない
火災・感電やけがの原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

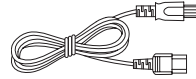
禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。

目次

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室 (裏表紙に記載) にご連絡ください。

電源コード × 1

電源コード変換コネクタ (3P-2P) × 1

RCA オーディオケーブル ×1

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたまま近くにあるテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

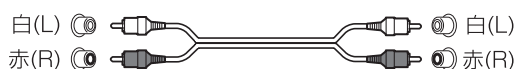
⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

デジタル音声出力機器
DIGITAL OUT
(COAXIAL)
同軸デジタル出力
デジタル音声出力機器
DIGITAL OUT
(OPTICAL)
光デジタル出力
パソコン
Windows OSの場合、接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(12ページ)
USBケーブル
RCA同軸デジタルケーブル
光デジタルケーブル
A
B
C
A
D
F
E
XLR
R
RCA
USB
COAXIAL 1
COAXIAL 2
XLR
L
RCA
OPTICAL 1
OPTICAL 2
AUTO
POWER SAVE
ON
OFF
~IN
LINE OUT
DIGITAL IN
LINE OUT
DIGITAL IN
どちらか一系統を接続してください。
XLRの極性は設定により2番HOT、3番HOTを選べます。(15ページ)
XLRケーブル
RCAオーディオケーブル
付属の電源コード
必要に応じて付属の電源コード変換コネクタ(3P-2P)を使用してください。
電源コンセント
R
L
R
L
音声入力
(LINE INなど)
ステレオアンプまたは パワードスピーカー

A アナログ音声出力端子

2 チャンネルのアナログ音声を出力します。XLR 端子または RCA 端子をステレオアンプまたはパワードスピーカーと接続してください。
接続には付属または市販のケーブルをお使いください。

XLR : バランス型 XLR ケーブル
RCA : RCA オーディオケーブル

本機の R 端子とアンプの R 端子、本機の L 端子とアンプの L 端子をそれぞれ接続してください。

B USB 入力端子

パソコンのデジタル音声を入力します。パソコンの USB 端子と接続してください。
接続には市販の USB ケーブルをお使いください。

注意

Windows OS のパソコンと接続する場合は、必ず専用ドライバーをパソコンにインストールしてから接続してください。(12 ページ)
ドライバーがインストールされていないパソコンとは接続できません。

C RCA 同軸デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器の同軸デジタル音声出力端子と接続してください。接続には市販の RCA 同軸デジタルケーブルをお使いください。

D 光デジタル音声入力端子

デジタル音声を入力します。デジタル音声出力機器の光デジタル音声出力端子と接続してください。
接続には市販の 光デジタルケーブルをお使いください。

E オートパワーセーブスイッチ (AUTO POWER SAVE)

オートパワーセーブ機能をオン / オフします。
オンに設定した場合、デジタル入力のない状態で 30 分以上操作しないと、スタンバイ状態になります。

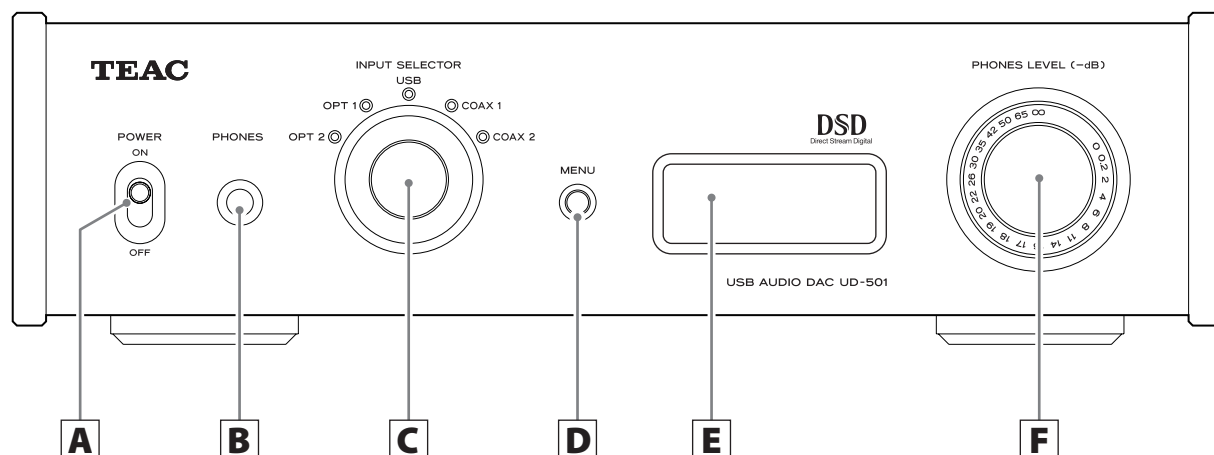
- スタンバイ状態時、本体のメニューボタンまたは、入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を操作するか、電源スイッチを一度オフ (OFF) にしてからオン (ON) にすると、電源がオンになります。
- 電源スイッチをオフにした場合は、数秒間待ってからオン (ON) にしてください。

F 電源インレット (~ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V の電源コンセントに差し込んでください。

⚠ 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

⚠ 全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

A 電源スイッチ (POWER)

電源をオン / オフします。

B ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (6.3mm ステレオ標準プラグ) を接続します。

C 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)

入力ソースを切り換えます。選択されているソースのインジケーターが点灯します。
メニューを表示しているときは設定値の変更に使用します。

- オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になっているときに入力切換つまみを操作すると、電源がオンになります。

D メニューボタン (MENU)

設定モードになります。（14 ページ)

- オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になっているときにメニューボタンを押すと、電源がオンになります。

E ディスプレー

再生中の音声の情報やメニュー画面を表示します。

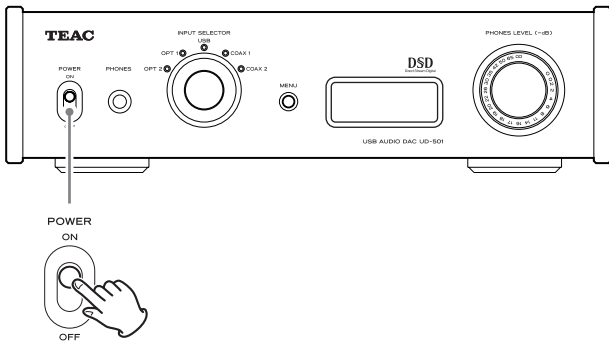
F ヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL)

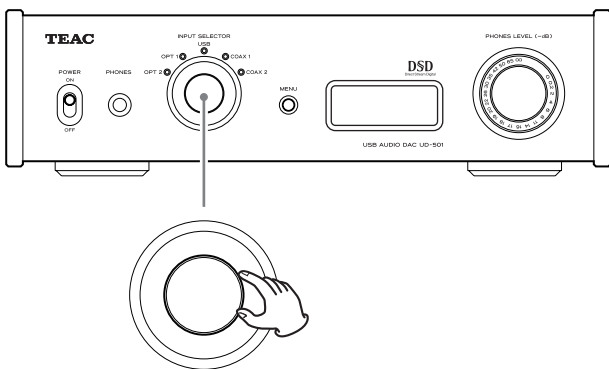
ヘッドホン出力の音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

- アナログ音声出力の音量は調節できません。

> 音量は、0 が最大、－∞（マイナス無限大）が最小です。ヘッドホンを使用する場合は、電源を入れる前にヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL) を最小 (－∞) にしてください。突然大きな音が出て、ヘッドホンを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

基本操作

1 電源スイッチ (POWER) を ON 側に倒して電源をオンにする。

- ステレオアンプを接続した場合は、ステレオアンプの電源を必ず一番最後にオンにしてください。

2 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して入力ソースを選ぶ。

選択したソースの入力インジケーターが点灯します。

- 入力信号がデジタルオーディオ信号ではないときや、DolbyDigital、dts、AAC など本機が対応していないオーディオ信号フォーマットのときはディスプレーに「NOT AUDIO!」と表示され、音声が出力されません。接続している機器のデジタル OUT 設定は PCM オーディオ出力に設定してください。
- Windows OS のパソコンの場合、「USB」を選択してパソコンの音楽ファイルを再生するときは、接続する前に専用ドライバーをパソコンにインストールしてください。(12 ページ)
- DSD データは USB のみで再生できます。

3 再生する機器を操作する。

各機器の取扱説明書をご覧ください。

4 音量を調節する。

本機に接続したステレオアンプなどで、音量の調節をしてください。

本機にヘッドホンを接続して使用する場合は、本機のヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL) を回して音量を調節してください。

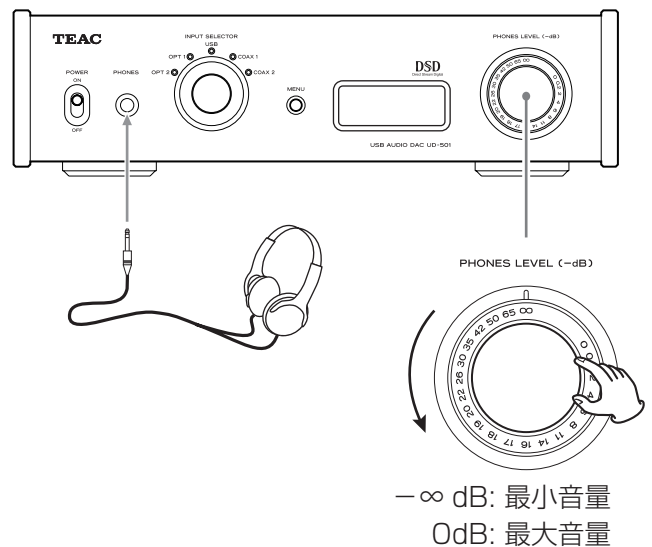
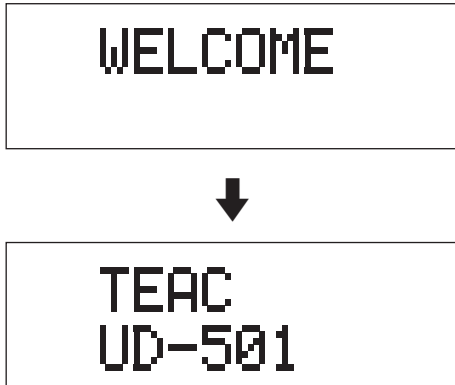
ヘッドホンを使用する場合

本機にヘッドホンを接続して使用する場合は、ヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL) を反時計回りに回し、音量を最小にしてからヘッドホンを接続してください。

−∞ dB: 最小音量
0dB: 最大音量

ディスプレー

電源 ON 時

TEAC
UD-501

と表示された後に、入力ソースの状態表示になります。

入力ソース選択の時

入力ソースを切り換えたとき、入力ソース名が表示されます。

例 OPT2 が選択されたとき

エラー表示

入力信号にロックできないとき、エラーメッセージ「UNLOCK!」が点滅表示されます。

例

OPT1
UNLOCK!

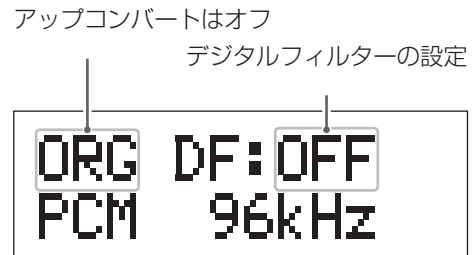
入力ソースの状態表示

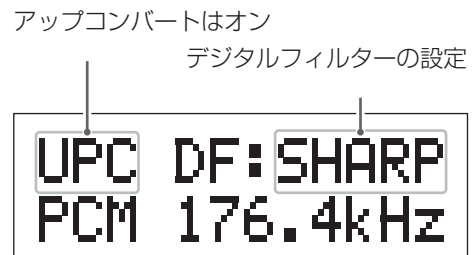
PCM 入力時

MODE DISP=OFF のとき

例

MODE DISP=ON、UPCONV=OFF、DF=OFF のとき

例

MODE DISP=ON、UPCONV=ON、DF=SHARP のとき

例

入力信号 352.8kHz でロックしたとき

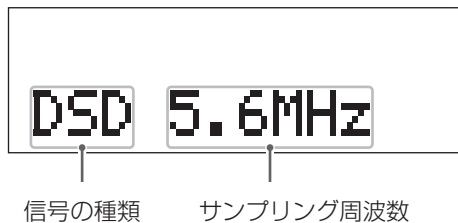
例

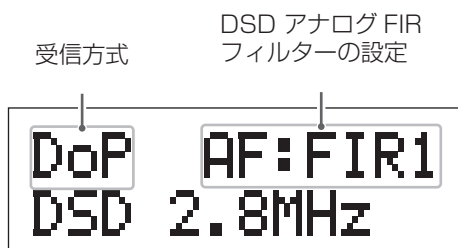
PCM 352.8kHz

- 352.8/384kHz でロックしたときは、アップコンバーター、PCM デジタルフィルターは、バイパスされるので、MODE DISP、UPCONV、DF の設定にかかわらず上段の表示は、表示されません。

DSD 入力時

MODE DISP=OFF のとき

例

MODE DISP=ON、DSD AF=FIR1 のとき

例

受信方式

表示なし：DSD をネイティブ (無変換) で受信

DoP　　：DSD 信号を DoP(DSD over PCM) 方式で受信

オートパワーセーブ状態表示

リアパネルのオートパワーセーブスイッチ (AUTO POWER SAVE) を切り換えたときに状態を約 2 秒間表示します。

オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になる 12 秒前にスタンバイ状態になるまでの残り時間が表示されます。

残り時間が 1 秒減る毎に「.」の数が減っていき、全部消えるとスタンバイ状態になります。

パソコンの音楽を再生する

ドライバーのインストール

Mac OS X の場合

Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
(OS X 10.6.4 以降)
Mac OS X 10.7 (Lion)
Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)
で動作します。(2012 年 10 月現在)

OS 標準のドライバーで動作するので専用ドライバーのインストールは必要ありません。

Windows OS の場合

専用ドライバーをパソコンにインストールする
本機でパソコンに記録されている音楽ファイルの再生を行うには、まず以下の弊社ダウンロードページより専用ドライバーをダウンロードして、パソコンにインストールする必要があります。

＜専用ドライバーソフト ダウンロードページアドレス＞
http://teac.jp/product/ud-501/downloads/

USB 接続できるパソコンの OS は
　Windows XP (32bit 版)
　Windows Vista (32bit 版、64bit 版)
　Windows 7 (32bit 版、64bit 版)
のいずれかとなります。これ以外の OS での動作保証はいたしません。

ご注意

パソコンとの USB 接続の前に専用ドライバーソフトをインストールしてください。
ドライバーインストール前にパソコンと本機を接続した場合、正しく動作させせることができません。また OS に WindowsXP をお使いの場合には、パソコンの動作が著しく遅くなってしまい、パソコンの再起動が必要となる場合があります。

- 専用ドライバーのインストール手順の詳細については弊社ダウンロードページをご覧ください。

- パソコンのハードウェア、ソフトウェアの構成によっては、上記の OS を使用していても動作しない場合があります。

転送モードについて

本機は HIGH SPEED アシンクロナスモードで接続します。
伝送可能サンプリング周波数は 44.1kHz/48kHz/88.2kHz/96kHz/176.4kHz/192kHz です。

正しく接続されると、OS のオーディオの出力先として、「TEAC USB AUDIO DEVICE」が選択可能になります。

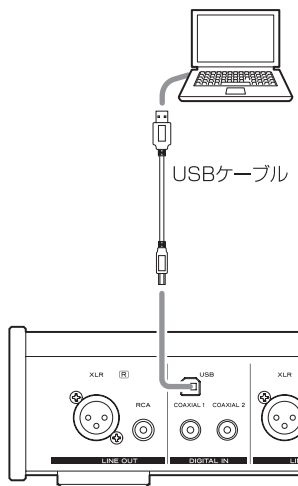
- アシンクロナスモードでは、パソコンから送出されたオーディオデータを本機側のクロックを使って処理しますので、データ伝送時のジッターを抑制することができます。

再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」のダウンロード

DSD ファイルに対応した再生アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」(Mac 版、Windows 版) を以下の弊社ダウンロードページよりダウンロードして、お使いいただくことができます。

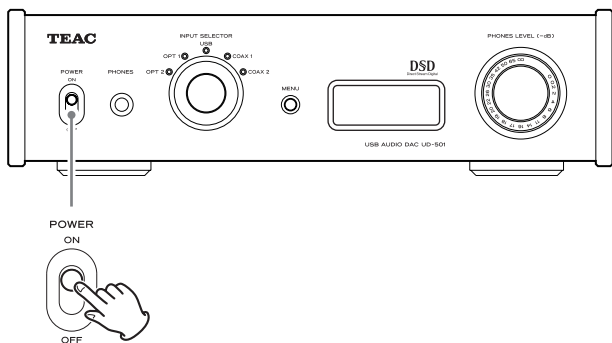
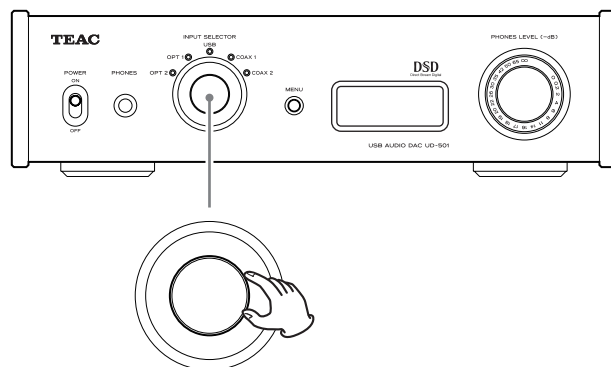
＜アプリケーションソフト「TEAC HR Audio Player」ダウンロードページアドレス＞
http://teac.jp/product/hr_audio_player/downloads/

パソコン内の音楽ファイルを再生する

1 USB ケーブルでパソコンと本機を接続する。

- ケーブルは本機の接続端子に合うものをご使用ください。

2 パソコンの電源をオンにする。

- OS が正常に起動できたことを確認してください。

3 本機の電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにする。

4 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して、「USB」を選ぶ。

5 パソコンで音楽ファイルの再生を開始する。

パソコン側の音量調整は最大に設定して、ステレオアンプの音量を調整するとより良い音質が得られます。
ステレオアンプの音量は再生開始時には最小にし、徐々に大きくして調整してください。

本機にヘッドホンを接続して使用する場合は、再生開始時にはヘッドホン音量つまみ (PHONES LEVEL) を反時計回りに回して音量を最小にし、徐々に大きくして調整してください。

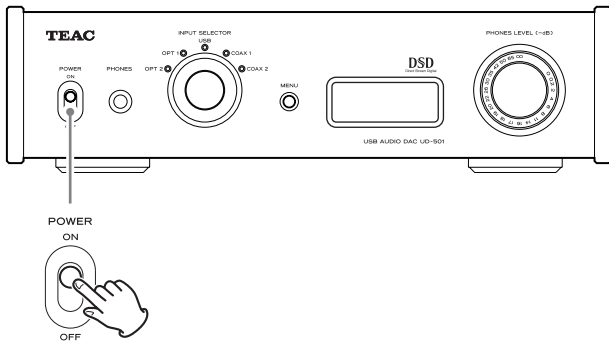
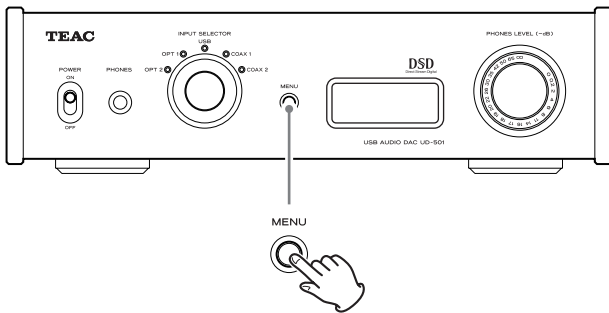
- パソコンから本機をコントロールしたり、本機からパソコンをコントロールすることはできません。

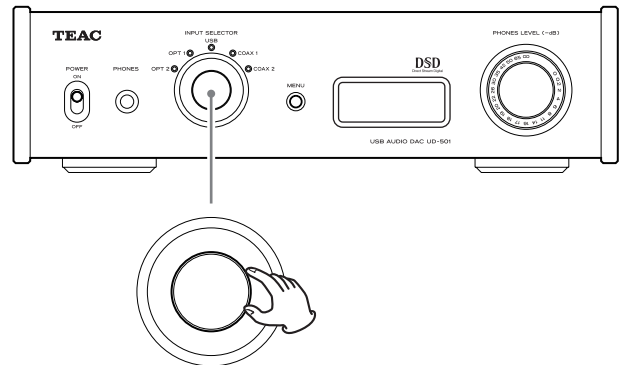
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときに、以下の操作を行わないでください。パソコンの誤動作の原因となります。これらの操作は必ず音楽再生ソフトを終了してから行ってください。
  - ・USB ケーブルを抜く
  - ・本機の電源をオフにする
  - ・本機の入力を切り換える

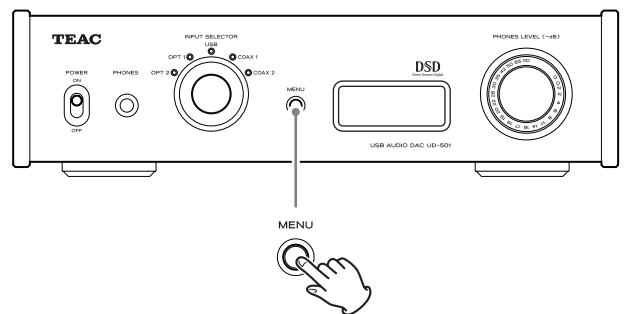
- USB 接続で音楽ファイルを再生しているときは、パソコンの操作時のサウンドも再生されます。操作時のサウンドを再生したくない場合は、パソコン側で設定を行ってください。

- 音楽再生ソフトを起動した後で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に設定した場合は、音楽ファイルが正しく再生できないことがあります。この場合は、音楽再生ソフトを再起動するか、パソコンを再起動してください。

設定

1 本機の電源ボタン (POWER) を押して電源をオンにする。

2 メニューボタン (MENU) を押して設定する項目を表示させる。

メニューボタン (MENU) を押すたびに、メニューは以下のように変わります。

3 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して設定値を変更する。

- ディスプレーに表示されている値が設定されている値です。

4 設定が終了したら、メニューボタン (MENU) を押して入力ソースの状態表示に戻す。

- 10 秒間操作をしないと、入力ソースの状態表示になります。
- メニューボタン (MENU) を 2 秒以上押しても入力ソースの状態表示になります。

アップコンバーター

```
*UPCONVERT
>OFF
```

PCM フォーマットの信号を受信しているときのアップコンバーター回路の設定をします。

OFF

アップコンバーターを使用しません。

ON

アップコンバーターを使用します。
サンプリング周波数が 192kHz 以下の PCM 信号は、192kHz の PCM 信号に D/D アップコンバートされた後に D/A 変換が行われます。

PCM デジタルフィルター

```
*PCM DF
>OFF
```

PCM フォーマットの信号を受信しているときのデジタルフィルターの設定をします。

OFF

デジタルフィルターを使用しません。

SHARP

シャープロールオフ特性のデジタルフィルターを使用します。

SLOW

スローロールオフ特性のデジタルフィルターを使用します。

- 352.8kHz/384kHz の信号を受信しているときは、本設定にかかわらず、デジタルフィルターは OFF で再生されます。

DSD アナログ FIR フィルター

```
*DSD AF
>FIR2
```

DSD フォーマットの信号を受信しているときのアナログフィルターの設定をします。

FIR1

fc=185kHz、Gain=-6.6dB

FIR2

fc=90kHz、Gain=+0.3dB

FIR3

fc=85kHz、Gain=-1.5dB

FIR4

fc=94kHz、Gain=-3.3dB

注
fc：カットオフ周波数
Gain：ゲイン

ライン出力

```
*LINE OUT
>RCA
```

アナログ音声出力端子を設定します。

RCA

RCA 端子から出力します。

XLR2

XLR 端子から 2 番 HOT の極性で出力します。

XLR3

XLR 端子から 3 番 HOT の極性で出力します。

同時出力 (ヘッドホン、ライン出力)

*OUTPUT BOTH
>OFF

OFF

同時出力を行いません。
ヘッドホンが接続されると、アナログ音声出力を止めます。

ON

同時出力を行います。
ヘッドホンを接続しても、アナログ音声出力を止めません。

USB 入力回路部の電源

*USB POWER
>AUTO

AUTO

USB 入力のときのみ USB 部の電源を ON にします。USB 以外の入力の時は、USB 部の電源を OFF にします。

ON

USB 部の電源を常に ON にします。

設定モード (UPCONV、DF、AF) の表示

*MODE DISP
>OFF

ディスプレーが入力ソースの状態表示中のとき、設定モード (アップコンバーター、フィルター、DSD の受信方式など) を表示するか選択します。

OFF

設定モードを表示しません。

ON

設定モードを表示します。

ディスプレーの明るさ

*DIMMER
>DIM3

DIM3

通常

DIM2

やや暗い

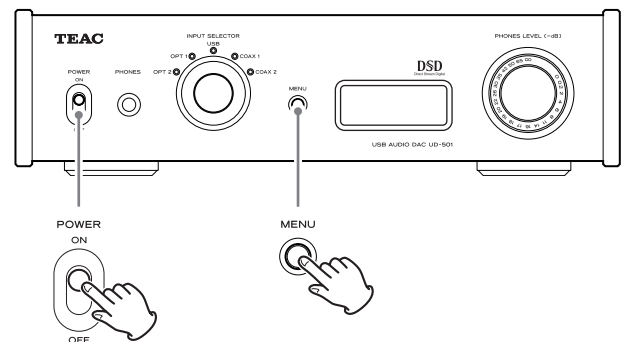
DIM1

さらに暗い

DISP OFF

消灯

各種設定を工場出荷時の設定に戻すには

MENU ボタンを押しながら電源スイッチを ON にする。

- MENU ボタンは、「SETUP CLR」表示が表示されるまで押してください。
  工場出荷時の設定は、各項目説明の画面イメージで記載されている設定です。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

一般

電源が入らない

➡電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。

➡コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているかを確かめてください。

➡オートパワーセーブ機能でスタンバイ状態になっている場合は、入力切換つまみを操作するか、メニューボタンを押すと、電源がオンになります。

音が出ない

➡本機にステレオアンプを接続しているときは、ステレオアンプの音量を調節してください。
本機にヘッドホンを接続して使用しているときは、ヘッドホン音量つまみ(PHONES LEVEL)で音量を調節してください。

➡入力切換つまみ(INPUT SELECTOR)で聴きたいソースを選んでください。

➡外部機器の接続をもう一度確認してください。

ブーンというノイズが聞こえる

➡接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

ヘッドホンの片側からしか音がでない

➡ヘッドホンプラグが奥まで差し込まれているかチェックしてください。

パソコンとの接続

パソコンで本機が認識されない

USB接続できるパソコンのOSは下記のいずれかとなります。

Apple Macintosh
Mac OS X 10.6 (Snow Leopard)
(OS X 10.6.4以降)
Mac OS X 10.7 (Lion)
Mac OS X 10.8 (Mountain Lion)

- OS標準のドライバーで動作します。
(2012年10月現在)

Microsoft Windows
Windows XP (32bit版)
Windows Vista (32bit版、64bit版)
Windows 7 (32bit版、64bit版)

- 専用ドライバーのインストールが必要です。
(12ページ)

これ以外のOSでの動作保証はいたしません。

雑音がする

音楽ファイル再生中に他のアプリケーションを起動すると、音が途切れたり、ノイズが発生する場合があります。再生中は他のアプリケーションを起動しないでください。

本機とパソコンをUSBハブなどを介して接続していると雑音がでることがあります。そのような場合は、本機とパソコンを直接接続してください。

音楽ファイルが再生できない

パソコンと本機を接続して,本機の入力を「USB」に切り換えてから、音楽再生ソフトを起動して再生を開始してください。
音楽再生ソフトを起動した状態で本機とパソコンを接続したり、本機の入力を「USB」に切り換えた場合は、音楽データが正しく再生できないことがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。

仕 様

アナログ音声出力

端子 ··················· XLR端子(ステレオ)×1
RCA端子(ステレオ)×1
出力インピーダンス ················ XLR：88Ω
RCA：22Ω
最大出力レベル(1kHz、フルスケール、10kΩ負荷時)
XLR：4.0Vrms
RCA：2.0Vrms
周波数特性 ·············· 5Hz～80kHz(－ 3dB)
S/N比 ···························· 115dB
歪率 ······················· 0.0015%(1kHz)

ヘッドホン出力

端子 ··············· 6.3mmステレオ標準ジャック
最大出力········ 100mW+100mW（32Ω負荷）

デジタル音声入力

同軸デジタル（COAXIAL）·········· RCA端子×2
（0.5Vp-p/75Ω）
光デジタル（OPTICAL）
角型光デジタル端子× 2系統
（－24.0 ～ －14.5dBmpeak）
USB···················· USB Type B 端子×1
（USB2.0準拠）
PCMデータ サンプリング周波数
　同軸デジタル（COAXIAL）
32/44.1/48/88.2/96/176.4/192kHz
　光デジタル（OPTICAL）
32/44.1/48/88.2/96kHz
　USB
44.1/48/88.2/96/176.4/192/
352.8/384kHz
量子化ビット数
　同軸デジタル（COAXIAL）/光デジタル（OPTICAL）
16/24ビット
　USB····················· 16/24/32ビット
DSDデータ サンプリング周波数
　USB························ 2.8/5.6MHz

一 般

電源 ··················· AC 100V (50/60Hz)
消費電力······························· 13W
外形寸法············· 290x 81.2 x 244 (mm)
(WxHxD、突起部を含む)
質量 ······························· 4.0kg
許容動作温度 ·················· ＋ 5℃～＋ 35℃
許容動作湿度 ········ 5%～85% (結露のないこと)
許容保管温度 ················ － 20℃～＋ 55℃

付属品

電源コード x 1

電源コード変換コネクタ (3P-2P) × 1

RCA オーディオケーブル × 1

取扱説明書 (本書) × 1

保証書 × 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

17 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。
測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代： 修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他： 製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：USBオーディオD/Aコンバーター
UD-501

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。

この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　http://www.teac.co.jp

この製品のお取り扱い等に関するお問い合わせは

AVお客様相談室までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜12:00/13:00〜17:00です。

AVお客様相談室

0570-000-701

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30〜17:00です。

ティアック修理センター

0570-000-501

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。
- 新電電各社をお使いの場合はナビダイヤルをご利用いただけないことがあります。その場合はご契約されている新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。
- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

1112.MA-1856B